

開講期	2025年度前期			単位数	4.0単位
科目[授業]名	6307 デザイン描画法			開講形態（隔週 偶数＝隔週2コマ）	週間授業
種別	許可			定員	
履修可能学年	1年/2年/3年	重複履修	×	全学開講	×
曜日時限	木曜4限、木曜5限				
教室	H106図画工作室、E204(メディア室4)				
代表教員	里見 佳音				
担当教員	里見 佳音				
テーマと到達目標	グラフィックデザイン・イラストレーション・キャラクターデザインなどの制作現場では、意図を相手に一瞬で伝えることを目的に、要素や形をシンプルに削ぎ落とすことが求められます。そのためにまずは、物の形や構造を正確に理解し、しっかり表現する描写力を身につけることが重要です。この授業は実際に手を動かしながら様々な描画実践を行い、「視覚的に相手に伝える」ことをテーマに、イラスト等のビジュアル制作に必要な観察力と描写力の習得を目指します。				
概要	構造の基礎を理解しながら、主にアナログ作業で物の描き方を学ぶ授業です。パース(空間設計)、人体(筋肉や骨格)、自然や光の構造の理解を目的とした基礎的な講義と、理解力を描写力に繋げるための演習課題を複数回行います。演習課題は基本的に授業内で完結させますが、授業後半に行う最終課題は、授業外での作品制作の時間が必要になります。				
対面科目/オンライン科目	対面科目				
授業計画				担当教員（複数の教員が担当する場合のみ記載）	授業方式
第1回	オリエンテーション（授業概要説明）				対面授業
第2回	オリエンテーション（授業概要説明）				対面授業
第3回	構造の理解①「空間」講義				対面授業
第4回	構造の理解①「空間を描く」演習				対面授業
第5回	構造の理解②「空間」講義				対面授業
第6回	構造の理解②「空間を描く」演習				対面授業
第7回	構造の理解③「空間」講義				対面授業
第8回	構造の理解③「空間を描く」演習				対面授業
第9回	構造の理解④「空間」講義				対面授業
第10回	構造の理解④「空間を描く」演習				対面授業
第11回	構造の理解⑤「自然物」講義				対面授業
第12回	構造の理解⑤「自然物を描く」演習				対面授業
第13回	構造の理解⑥「自然物」講義				対面授業
第14回	構造の理解⑥「自然物を描く」演習				対面授業
第15回	構造の理解⑦「人体」講義				対面授業
第16回	構造の理解⑦「人体を描く」演習				対面授業
第17回	構造の理解⑧「人体」講義				対面授業
第18回	構造の理解⑧「人体を描く」演習				対面授業
第19回	構造の理解⑨「人体」講義				対面授業
第20回	構造の理解⑨「人体を描く」演習				対面授業
第21回	構造の理解と表現力／最終課題オリエンテーション				対面授業
第22回	構造の理解と表現力／最終課題アイデアの企画				対面授業
第23回	構造の理解と表現力／アイデアチェック				対面授業
第24回	構造の理解と表現力／アイデアチェック				対面授業

第 2 5 回	構造の理解と表現力／実制作		対面授業
第 2 6 回	構造の理解と表現力／実制作		対面授業
第 2 7 回	構造の理解と表現力／作品完成・プレゼンテーション準備		対面授業
第 2 8 回	構造の理解と表現力／作品完成・プレゼンテーション準備		対面授業
第 2 9 回	構造の理解と表現力／作品発表・講評		対面授業
第 3 0 回	構造の理解と表現力／作品発表・講評・総評		対面授業
成績評価の基準	成績評価：課題制作物の質・理解力、出欠状況、授業態度から総合的に評価します。（制作物評価60％／出欠30％／授業態度10％） 単位認定：全授業の2/3以上の出席、及び課題作品の提出が必要になります。		
履修にあたっての留意事項	・遅刻は厳禁です。無断欠席は授業態度に影響しますので、やむを得ない場合は事前に連絡してください。 ・大半が絵を描く授業です。最終課題では宿題もあります。絵を描くことが好きではない、授業外での作品制作を楽しめない方には向いていません。 ・シラバスの内容、課題数は状況を見ながら変更する可能性があります。 ・最終課題制作で必要になる道具（Adobeソフト・ツール・素材・画材等）は各自で購入、調達してください。		
オンライン授業方式(同時双方向型・オンデマンド型)の詳細	対面授業のみ（やむを得ず実施する場合は、ZOOM使用の同時双方向型）		
【種別】人数制限（抽選）授業の優先条件			

◆教科書・教材

教科書以外に必要な教材費用	毎週行う演習では、鉛筆（B,2B,3B,4Bのどれか数本 ※シャーペン不可）、クロッキー帳（Lサイズ356×268mm推奨）、練り消しゴム、定規（20～30cm程度）が必要になります。		
教科書		教科書(ISBN)	
参考文献		参考文献(ISBN)	